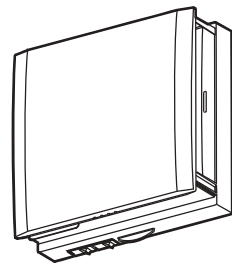


# DAIKEN

24時間換気システム「エアスマート」専用部材  
給気ファン21型  
形名

**SB0461**  
**SB0462 (ベージュ)**

〈壁取付専用〉



## 取付・取扱説明書

この製品は24時間換気システムとしてご使用いただけます。  
取付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、工事店さまが正しく安全に取付けてください。

- 接続パイプは市販品の塩化ビニル管（4番管・呼び径φ100）または鋼板管（内径100）のいずれかをご用意ください。
- 本体スイッチの操作が困難なところに取付ける場合は、壁スイッチ（市販品）の併用をおすすめします。（壁スイッチの選定については4ページの取付方法を参照ください）

**取付け終了後は、必ずお客さまにこの説明書をお渡しください。**







- ご使用前に「安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。  
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

### もくじ

安全のために必ず守ること	1~2
取付け前のお願い	2
ご使用にあたってのお願い	2
外形寸法図	2
各部のなまえ	3
取付方法	3~5
使用方法	5
お手入れ	6~7
故障かな？と思ったら	7
アフターサービス	7
仕様	7
保証書	8
愛情点検	8

## 安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

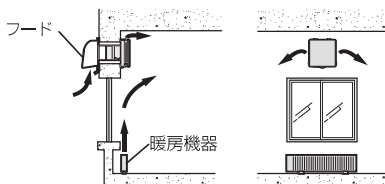
		 <b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの		
取付時・使用時	 禁止	●ガス漏れに気付いたときは、給気ファン（電気器具その他）のスイッチの入・切をしない 爆発や引火の原因になります。	取付時・使用時	 指示に従い必ず行う	●外気取り入れ口は、燃焼ガスなどの排気口より離れた位置に設ける 室内の酸欠の原因となります。
	 分解禁止	●改造や分解はしない 火災・感電・けがの原因になります。			●給気ファンがメタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板などの金属と電氣的に接続しないように取付ける 接続されていると漏電した場合、火災の原因になります。
	 水ぬれ禁止	●製品を水につけたり、水をかけたりしない ショートや感電の原因になります。			●交流100Vを使用する 直流や交流200Vを使用すると感電の原因になります。
使用時	 指示に従い必ず行う	●お手入れの際（本体の水滴を拭き取る時等）は分電盤のブレーカーを切る 感電やけがの原因になります。 ●異常・故障時には、直ちに使用を中止する そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。 〈異常・故障例〉 「愛情点検」を参照ください。			

# 安全のために必ず守ること つづき

 <b>注意</b>		誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの				
取付時	 禁止	● 直接炎があたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤のある場所には取付けない 火災のおそれがあります。	取付時・使用時	 指示に従い必ず行う	● 取付け・お手入れの際は手袋を着用する 着用しないとけがをすることがあります。	
	 風呂・シャワー室での使用禁止	● 天井には取付けない 結露水によるショートの原因になります。		使用時	 禁止	● 本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によりけがをすることがあります。
	 指示に従い必ず行う	● 浴室など湿気が多い場所には取付けない 感電および故障の原因になります。			 接触禁止	● 24時間運転のためメンテナンス・長期不在時以外は電源を切らない 換気不足による健康障害が生じるおそれがあります。
		● 本体の取付けは十分強度のあるところを選んで確実に 落下によりけがをすることがあります。			 指示に従い必ず行う	● 運転中は羽根の中に指や物を入れない けがのおそれがあります。
		● 電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に 接続不良や誤った電気工事は感電や火災のおそれがあります。				● 長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。
		● 電気工事は必ず電気工事店に依頼する 間違った電気工事は感電のおそれがあります。				

## 取付け前のお願い

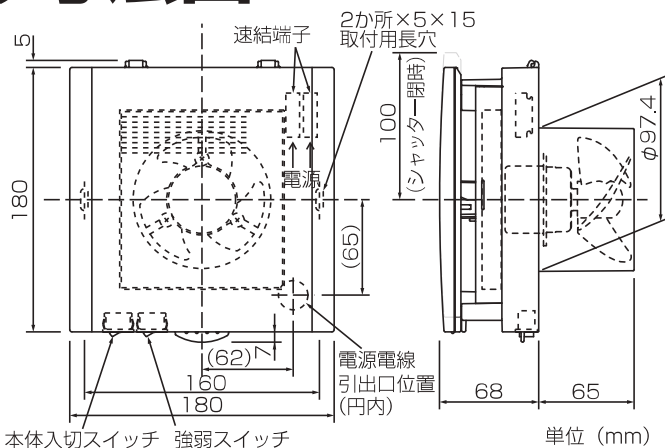
- 高温（40℃以上）になるところに取付けないでください。（故障の原因になります）
- アルミフレキシブルダクトへの取付けはしないでください。（振動の原因になります）
- 火災警報器がある場合は、感知部から1.5m以上離れたところに取付けてください。
- 塩害・温泉害の発生している場所には取付けないでください。
- 開放式ストーブをご使用の場合は、本製品では換気風量不足ですので、専用の換気扇を取付けてください。
- 天井や傾斜面には取付けないでください。
- 壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものとしてください。
- 冬期の場合、冷気が直接入ってきますので、右図のような設置をおすすめします。



## ご使用にあたってのお願い

- 下記環境下では、結露水が滴下することがありますので、乾いた布で拭き取ってください。（運転中に滴下する場合は、必ず分電盤のブレーカーを切り、運転を停止した状態で拭き取ってください）  
 室外温度が-10℃を下回り、かつ室内温度が15~20℃、室内湿度45%RH以上
- 外気温が低いときや霧の多いとき、台風など外風・雨の強いときには運転を停止し、シャッターを閉じてください。（運転を継続した場合は、フィルター枠に水がたまり、あふれるおそれがありますので、清掃してください）
- 吹出口をふさぐような障害物を製品のまわりに置かないでください。
- グリル（パネル）を無理に押ししたり、引っ張らないでください。また、グリルに物をかけたりしないでください。（パネル・シャッター動作不良や破損の原因になります）
- 給気ファン設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。

## 外形寸法図



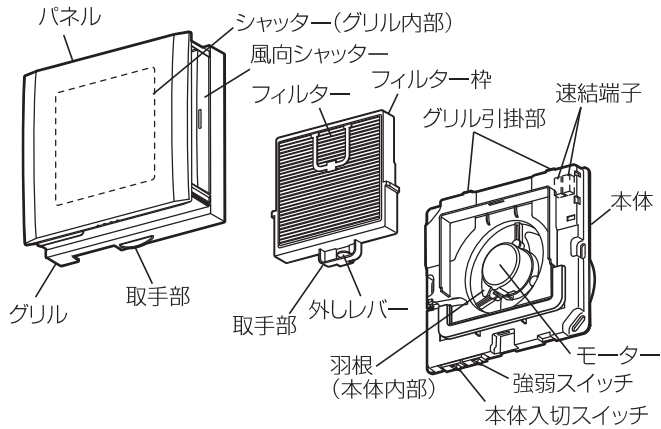
### 付属部品

- 木ネジ……………2本
- クッション……………1本
- 運転保持シール…強運転用1枚  
 ……弱運転用1枚

### 適用パイプ

- 塩化ビニル管…VP、VU  
 （4番管・呼び径φ100）
- 鋼板管（内径100）

# 各部のなまえ



■別売フィルターは以下のいずれかをお求めください。  
 ※フィルターの種類によってお手入れ方法などが異なりますので、各フィルターの取扱説明書をご確認ください。

フィルター名 品番	高性能フィルター (品番:SB0499-K11)	微小粒子用フィルター (品番:SB0499-K25)
特長	外気に含まれる10μm以上の粒子(花粉、粉じんなど)を約97%(質量法)取り除きます。	外気に含まれる2μm以上の微小粒子を約95%(計数法)取り除きます。
交換時期の目安	約1年	約6か月
お手入れ	掃除機でほこりを吸い取る。(水洗い厳禁)	微小粒子を捕集するため、お手入れできません。
その他	給気ファン21型に標準搭載されているフィルターです。	微小粒子用フィルターを使用した場合、標準搭載の高性能フィルターに比べて給気風量が約25%低下します。

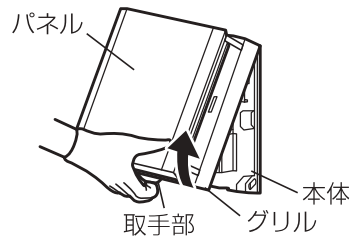
## 取付方法

### 取付前の準備

グリルの取手部を持って手前に引き、持ち上げてはまず。

#### お願い

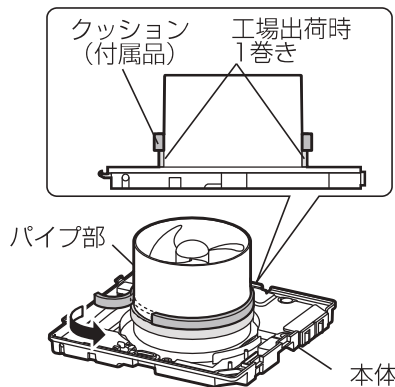
- グリルをはずす際は、パネルを引っ張らないでください。破損のおそれがあります。



### 〈接続パイプ別準備〉

接続パイプは塩化ビニル管の薄肉(VU)管(内径107mm)、厚肉(VP)管・鋼板管(内径100mm)またはこれに相当する内径のパイプを用意してください。

- お願い ●アルミフレキシブルダクトは堅固な取付けができないため使用できません。



#### VP管・鋼板管の場合 (内径100mmのもの)

そのまま接続パイプに挿入する。

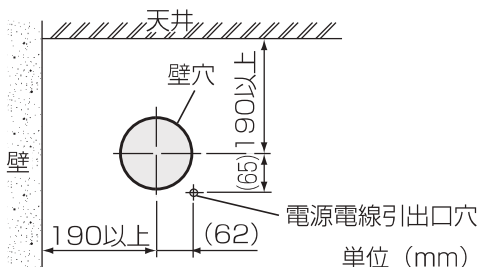
#### VU管の場合 (内径107mmのもの)

本体パイプ部のクッションに付属のクッションを貼り付け、接続パイプに挿入する。

#### お願い

- クッションは左図の位置に貼り付けてください。
- クッションの貼り付けを確実にしないと、パイプと本体のすき間からの雨水の浸入や、ほこりの侵入で壁を汚すことがあります。端部にすき間ができないよう貼り付けてください。

### 〈取付穴の準備〉



#### 1.取付け場所を決めて壁穴を開ける。

- 必要壁厚に応じてパイプの長さを決めてください。参考：SB0404 (フード) 使用の場合

$$\text{必要壁厚} \geq \text{本体埋込寸法} + \text{深形フードのパイプ} + \text{余裕しろ}$$

$$(120\text{mm以上}) \geq (65\text{mm}) + \text{接続部} (53\text{mm}) + (2\text{mm})$$

- 必ず床面より1800mm以上のメンテナンス可能な位置に取付けてください。
- 壁・天井との距離が近いと壁・天井面が汚れる場合があります。

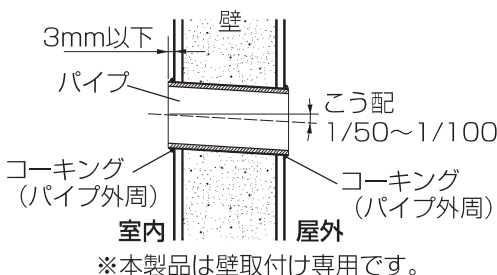
#### 2.壁穴にパイプを確実に固定する。

パイプと壁のすき間はコーキング処理を施す。

- 電源電線を室内に引き込んでから(電気工事参照)行ってください。
- 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
- 壁内への水浸入を防ぐため、パイプは室内壁面まで差し込みます。

#### お願い

- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこう配をつけて固定してください。



※本製品は壁取付け専用です。

# 取付方法 つづき

## 電気工事

電源の接続・電気工事などは、必ず専門の電気工事店へご依頼ください。

■市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを組合わせてください。

- 壁スイッチは入/切タイプをご使用ください。(壁スイッチによる風量切替はできません)
- 電子式スイッチ(半導体制御による速調スイッチ・タイマー等)をご使用の場合は組合せ上、不具合が発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。
- スイッチはホルムアルデヒド対策のため換気設備は常時運転できるものとしなければなりません。このため、換気システムのスイッチは容易に停止されないものとするのが望まれます。  
〔例〕 ・常時運転すべきことを指示する注意書きの貼り付けのあるもの。 ・長押しでOFFとなる構造のもの。  
・切りボタン(OFFスイッチ)にカバーを設けた構造のもの。 ・専用ブレーカーを設ける。

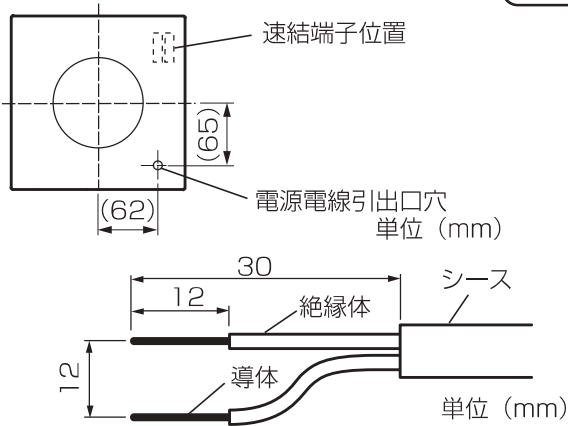
## 警告

### ●交流100Vを使用する

直流や交流200Vを使用すると感電の原因になります。

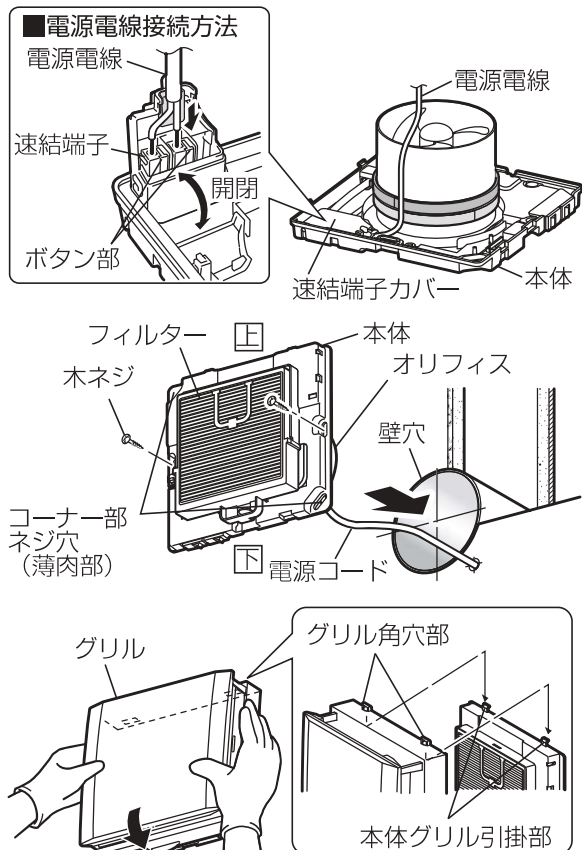
## 注意

- 電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う接続不良や誤った電気工事は感電や火災のおそれがあります。
- 電気工事は必ず電気工事店に依頼する  
間違った電気工事は感電のおそれがあります。



- 1.電源電線を左図の位置から室内に引き込む。  
●電源電線はVVFφ1.6または2.0 2芯をご使用ください。
- 2.電源電線の先端を左図寸法に合わせて皮むきする。  
●端子部への水・ほこりの浸入を防ぐため皮むき寸法を守ってください。

## 本体の取付け



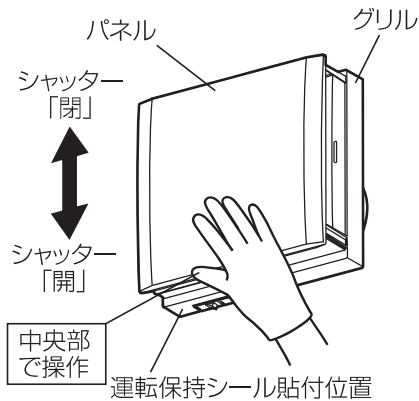
- 1.電源電線を速結端子に差し込む。  
①速結端子カバーを図のように開ける。  
②電源電線を速結端子に差し込む。  
③確実に速結端子カバーを元通り閉じる。

### お願い

- 電源電線は確実に速結端子に差し込みます。皮むきした部分が端子より出ないようにしてください。
  - 電源電線を軽く引っ張って速結端子に確実に固定されていることを確認してください。
  - 電源電線は本体に密着させて配線してください。
  - 電源電線を速結端子よりはみ出す場合は、ボタン部を押しながら電源電線を引き抜いてください。
- 2.本体の上下を確認してパイプに差し込み、本体が左右に傾かないよう水平に付属の木ネジ(2本)で固定する。  
●左右の取付用穴をご使用ください。必要に応じてコーナー部ネジ穴(薄肉部)をご使用ください。  
●本体が壁面より浮かないよう取付けてください。  
●石膏ボードに取付ける場合は、市販の石膏ボード用アンカーを必ず使用してください。
  - 3.グリルを本体に取付ける。  
●本体のグリル引掛部(2か所)にグリルの角穴部をはめ込み、下側を押えて固定する。
  - 4.以上の取付けが終了後、本体とグリルが確実に取付けられているか確認する。

## 試運転

取付けが完了しましたら下記の要領にて試運転を行い、正常に動作するか、異常な音・振動などがないかを確認してください。



1. パネルを上方向に手でスライドさせ、シャッター（グリル内部）が閉じることを確認する。
2. パネルを下方向にスライドしてシャッターを開き、本体入切スイッチで給気ファンが運転・停止するかを確認する。
  - 本体入切スイッチを「入」にした後、強弱スイッチで強弱運転が確実に切替わることを確認する。
  - お客さまに強あるいは弱運転を保持していただくために同梱の運転保持シールをスイッチ近傍の見える位置に貼り付ける。

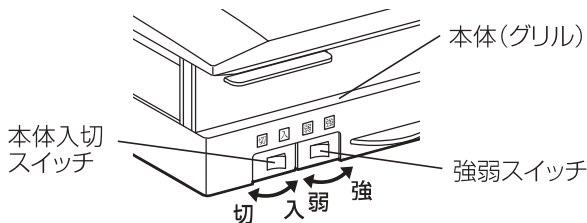
### お願い

- 試運転が終了したら本体入切スイッチを「切」にしてください。また、パネルを上方向にスライドさせ、シャッター（グリル内部）を閉じてください。（お客さまがご使用になるまで製品内にほこりがないようにするため）

## 使用方法

この製品は、24時間換気（給気用）専用ですので特別な場合（運転異常・給気過多・点検・お手入れ）を除き常時本体のスイッチ「入」でご使用ください。

また、適正な換気量を確保するため、現在の風量設定（強運転もしくは弱運転）のままでお使いください。

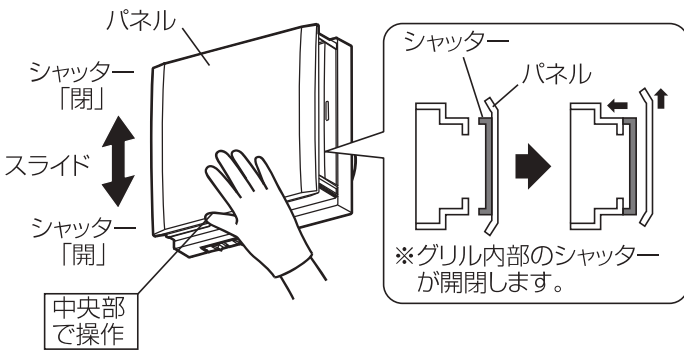


### 運転のしかた

- 本体入切スイッチを「入」にします。停止するときは「切」にします。強弱スイッチで風量「強」「弱」を切替えます。

### お願い

- 運転するときは必ずシャッターを開いてください。



### シャッター開閉のしかた

- パネルを上下にスライドさせることでシャッター（グリル内部）が開閉します。（パネル中央部付近で操作します）

### お願い

- 外気が低温のとき、結氷などにより操作が固くなる場合があります。その場合は一度グリルを本体から取りはずして操作してください。
- 外気が低温のとき、表面パネルに結露が著しく発生することがあります。その場合は一時的に運転を停止し、シャッターを閉じてください。
- シャッターを開いたときはシャッターがパネルに密着していることを確認してください。
- シャッターを閉じたときは手をグリル周囲にかざすなどして、風がもれていないか確認してください。

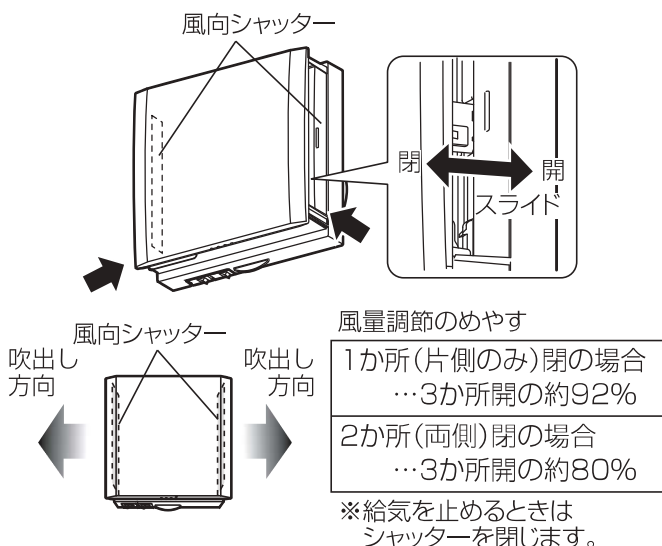
### 吹出し方向の変更のしかた

- 左右の風向シャッターを開閉することで吹出方向の変更ができます。（左右吹出しのみ）

### 風量調節のしかた

- 左右の風向シャッターを1か所または2か所閉じて給気量を調節できます。

- ✕モ ● 風向シャッター閉の場合、外気が低温のときの運転中に風向シャッター表面に結露することがあります。



# お手入れ

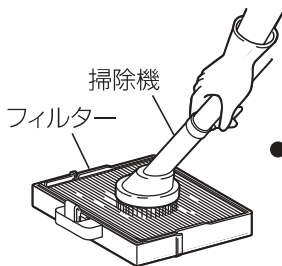
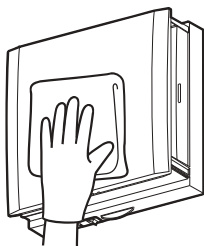
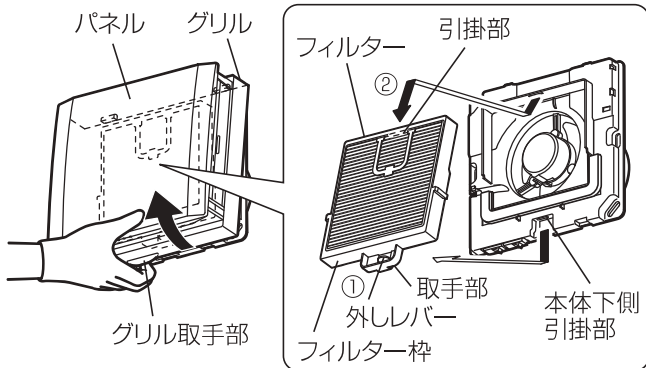
フィルターやグリルにほこりが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になりますので約2か月に1度を目安に清掃してください。

●長い間ご使用の給気ファンは、使用上支障がなくても安全のための点検(「愛情点検」を参照ください)をお願いします。

## ⚠ 警告

- お手入れの際は分電盤のブレーカーを切る  
通電状態では感電やけがをすることがあります。

グリル表面に結露水が付着しているときは、乾いた布で拭き取ってから清掃してください。



- フィルターのほこりを掃除機で吸い取る。

<フィルターの取りはずしかた>



軽く押す  
(傾けてはずれない場合)

## ⚠ 注意

- お手入れの際は手袋を着用する  
着用しないとけがをすることがあります。

### 1. 清掃部品 (フィルター枠) のはずしかた

#### 1. グリルをはずす

- グリルの取手部を手前に引きながら斜めに持ち上げて、本体上側のグリル引掛部からはずしてください。

#### お願い

- グリルをはずす際はパネルを持って引っ張らないでください。破損のおそれがあります。

#### 2. フィルター枠を取りはずす

- ① フィルター枠の取手部にある外しレバーを押し下げ、フィルター枠を本体下側の引掛部からはずします。
- ② フィルター枠を斜め下方向にスライドさせて本体からはずします。

#### メモ

- フィルター枠を本体からはずす際に、フィルター裏側のほこりや虫が落下したり、結露水が滴下することがあります。また、フィルターが枠からはずれることがあります。

### 2. 清掃のしかた

#### 1. 各部品を清掃する

- グリルやフィルター枠、本体は中性洗剤を溶かしたぬるま湯(40℃以下)に浸した布で汚れを拭き取った後、洗剤が残らないように乾いた布でよく拭き取ってください。

#### お願い

- 本体やグリル裏側の断熱材をはがさないでください。(結露や外気侵入の原因になります)
- ドライヤーなどで強制乾燥をしないでください。(変形・変質の原因になります)
- お手入れに下記の溶剤等を使用しますと変質・変色する原因になります。  
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンジャー等けんま材入の洗剤、殺虫剤、消毒剤など
- グリル(シャッター、パネル)を分解しないでください。
- お手入れの際、羽根に衝撃を与えたり、モーターの軸に無理な力をかけないでください。(異常音発生の原因になります)

#### 2. フィルターを清掃または交換する

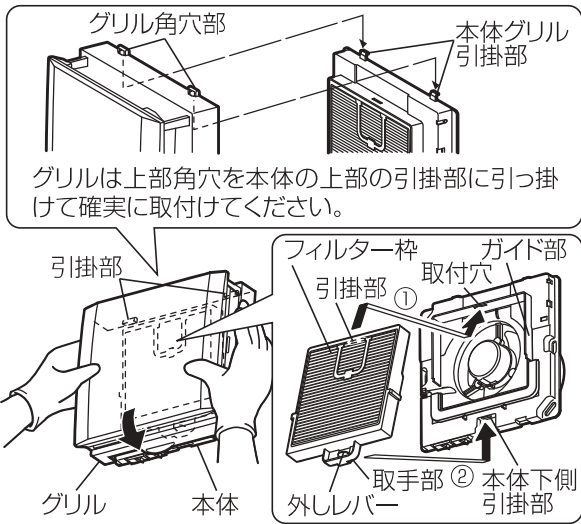
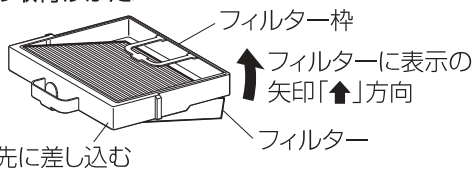
■別売フィルターは以下のいずれかを求めください。

※フィルターの種類によってお手入れ方法などが異なりますので、各フィルターの取扱説明書をご確認ください。

フィルター名 品番	高性能フィルター (品番:SB0499-K11)	微小粒子用フィルター (品番:SB0499-K25)
特長	外気に含まれる10μm以上の粒子(花粉、粉じんなど)を約97%(質量法)取り除きます。	外気に含まれる2μm以上の微小粒子を約95%(計数法)取り除きます。
交換時期の目安	約1年	約6か月
お手入れ	掃除機でほこりを吸い取る。(水洗い厳禁)	微小粒子を捕集するため、お手入れできません。
その他	給気ファン21型に標準搭載されているフィルターです。	微小粒子用フィルターを使用した場合、標準搭載の高性能フィルターに比べて給気風量が約25%低下します。

別売フィルターのお求めは、  
DAIKENパーツショップ <http://www.daiken.jp/service/>

<フィルターの取付けかた>



### 3.お手入れ後の取付け

#### 1.フィルター枠にフィルターを取付ける（フィルター交換の場合）

- フィルターは側面の「↑」表示に注意して濃い緑色の面が本体側になるようフィルター枠に取付けてください。

#### 2.フィルター枠を本体に取付ける

- ①フィルター枠上側の引掛部を本体取付穴に合わせます。
- ②フィルター枠の取手部を本体下側引掛部に固定してください。（フィルター枠を本体ガイド部に沿って斜めに滑らせて挿入します）

#### お願い

- フィルター枠は確実に取付けてください。（虫侵入・外気もれの原因になります）

#### 3.グリルの方向を間違えないよう本体に取付ける。

- ①グリル角穴部を本体上部の引掛部に引っ掛ける。
- ②グリル下面が壁面に当たるまでおろす。

#### 4.取付け後、次の確認をする

- (1)フィルター、フィルター枠は確実に取付けられていますか。
- (2)グリルが確実に取付けられていますか。（上部のグリル角穴が、本体引掛部に引っ掛かっていますか）
- (3)異常な音が出ていませんか。（必ず運転して確認してください）
- (4)パネルおよびシャッターは確実に動作しますか。

## 故障かな?と思ったら

●次のような症状があれば点検してください。点検・処置をしても直らない場合、または下記以外の症状が生じた場合は、事故防止のため分電盤のブレーカーを切って、工事店にお申しつけください。

こんなとき	原因	点検・処置
スイッチを入れても羽根が回転しない	分電盤のブレーカーが切れていませんか 本体入切スイッチが「切」になっていませんか	ブレーカーを「入」にします 本体入切スイッチを「入」にします
運転中に異常音や振動がする	本体・グリル・フィルターが確実に取付けられていますか グリル・フィルターにほこり、異物が付着していませんか	グリル・フィルターを取付け直します グリル・フィルターを清掃します
羽根が逆転する、回転が遅い、または不規則	外風の影響で発生する可能性があります	外風の影響のない状態で確認します
グリルが取付けられない、浮く	フィルター枠が正しく本体に取付けられていますか（本体から浮いているなど） グリル上部角穴が本体上部引掛部に引っ掛けられていますか	フィルター枠を本体に正しく取付ける グリルを本体に正しく取付ける
風の吹出しが弱い	シャッターが閉じていませんか フィルターにほこり、異物が付着していませんか 濃霧時などフィルターが水を含んで目詰まりしていませんか	シャッターを開きます フィルターの清掃、交換をします フィルターを自然乾燥させます
シャッターが閉じない／開かない	正しく操作されていますか／部品の破損はありませんか	<b>使用方法</b> を確認します
パネルがはずれてしまった	パネルを持って引っ張っていませんか	パネル裏の組立要領で組立ててください。

●モーターの軸受は回転がなじんで時間が経つにつれ、音が変わることがありますが、異常ではありません。

## アフターサービス

DAIKEN24時間換気システム「エアスマート」専用部材のアフターサービスは、工事店か大建工業お問い合わせ先（本説明書末尾）にご連絡ください。

### ■補修用性能部品の保有期間

当社はこの給気ファンの補修用性能部品を製造打切後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 仕様

(電圧100V)

形名	周波数 (Hz)	ノッチ	消費電力 (W)	風量 (m³/h)	騒音 (dB)	質量 (kg)
SBO461	50	常時換気(強)	2.5	26	25	0.75
		弱	1.7	21	21	
SBO462	60	常時換気(強)	2.9	29	27	
		弱	1.9	20	21	

※高性能フィルター(SBO499-K11)取付け時の値です。  
※特性はJIS C 9603に基づく開放時の値です。

## 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

### 〔本体への表示内容〕

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。

### 〔設計上の標準使用期間とは〕

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件（右表による）に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、JIS C 9921-2に基づいて右記の想定時間を用いて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

●「経年劣化」とは長期間にわたる使用や配置に伴い生ずる劣化をいいます。



【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります

【設計上の標準使用期間】15年

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

### ■標準使用条件 JIS C 9921-2による

環境条件	電 圧	単相100V	定格電圧による
	周 波 数	50Hzおよび60Hz	定格周波数による
	温 度	20℃	JIS C 9603から引用
	湿 度	65%	
設置条件	標準設置	本書による	
負荷条件	定格負荷	本書の「仕様」による	
想定時間	1年間の使用時間	換気時間 <sup>a)</sup>	
		台 所 2410時間/年 居 室 2193時間/年 トイレ 2614時間/年 浴 室 1671時間/年	
注 <sup>a)</sup> 24時間換気のもの、8760時間/年とする。			

## 保証書

本保証書は、本書記載の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書による正常なご使用状態で、お買い上げの日から下記の期間中に故障した場合には、工事店にご依頼ください。無料修理をさせていただきます。

●本書の※印欄に記入のない場合は、有効となりませんので、直ちに工事店にお申し出ください。

●本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

●本書は日本国内においてのみ有効です。

Effective only in Japan.

形 名	保証期間 (お買い上げ日より)		本体1年間
※お客様	お名前	※お買い上げ日	年 月 日
	様	※工事店名 販社名	
		ご住所 〒	工事店名 ※住所 店名
電話 ( )		電話 ( )	

### ＜無料修理規程＞

- 保証期間内に故障して、無料修理をご依頼の場合、工事店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島または離島に準じる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご贈答品等で本書に記載してある工事店に修理をご依頼できない場合には、大建工業お問い合わせ先（本説明書末尾）へご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
  - (イ) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
  - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下などによる故障および損傷。
  - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
  - (ニ) 本書にご愛用者名、お買い上げ日、工事店名の記入のない場合あるいは字句を書き替えられた場合。
  - (ホ) 一般用以外（車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障および損傷。

修理実施日	修理内容	サービス員氏名

◎この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、工事店または大建お問い合わせ先（本説明書末尾）にご相談ください。

◎保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間につきましては7ページをご覧ください。

## 愛情点検



### ☆長年ご使用の給気ファンの点検を！

ご使用の際  
このようなことは  
ありませんか。

- スイッチを入れても給気しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則。（モーターはメンテナンスが必要な部品です）
- こげ臭いにおいがする。
- 本体取付部に腐食・破損等がある。

使用  
中止

故障や事故防止のため、電源を切って必ず工事店にご連絡ください。点検、修理に要する費用は工事店にご相談ください。

## 大建工業株式会社

DAIKENのホームページアドレス  
<http://www.daiken.jp/>

### お問い合わせ

#### サウンドセンター

東京 TEL(03)6271-7785 大阪 TEL(06)6205-7245

受付時間：平日10:00～17:00(土・日・祝日・年末年始・お盆は休みとなります。)